

20.現在の勤務の中で困っていること、悩んでいることはありますか。

(1 ある 2 ない)

現在の勤務の中で困っていること、悩んでいることが「ある」と答えたのは65.1%であった。

一方、療養病床調査の結果では、現在の勤務の中で困っていること、悩んでいることが「ある」と答えたのは68.7%であった。

	老健施設				療養病床			
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
ある	242	64.4	65.1	65.1	215	68.7	70.7	70.7
ない	130	34.6	34.9	100.0	89	28.4	29.3	100.0
合計	372	98.9	100.0		304	97.1	100.0	
欠損値	4	1.1			9	2.9		
合計	376	100.0			313	100.0		

「ある」を選んだ方は、次のうち主なものを選んで○をつけてください。(○は1つ)

(1.診療や書類作成など勤務の多忙さ 2.医療処置の複雑さ、頻度の高さ 3.他の施設や機関との調整 4.職員間の関係 5.他科(皮膚科、整形外科など)への相談 6.その他)

困っていること、悩んでいることは、「診療や書類作成など勤務の多忙さ」83(29.9%)が最も多かった。その他では、「利用者の家族への対応」、「医療システムの構築について」、「施設への不満」、などといった回答があった。

一方、療養病床調査の結果では、困っていること、悩んでいることは、「診療や書類作成など勤務の多忙さ」118(42.9%)が最も多かった。その他では、「患者の家族への対応」、「高齢者の治療方針について」、「施設への不満」、「療養病床の将来的な展望」などといった回答があった。

療養病床では書類作成などの多忙さが、老人保健施設では医療処置に関連した悩みが目立っていた。

	老健施設		療養病床	
	度数	パーセント	度数	パーセント
診療や書類作成など勤務の多忙さ	83	29.9	118	42.9
他の施設や機関との調整	43	15.5	48	17.5
医療処置の複雑さ、頻度の高さ	33	11.9	14	5.1
他科(皮膚科、整形外科など)への相談	31	11.2	31	11.3
職員間の関係	18	6.5	19	6.9
その他	70	25.2	45	16.4
	278	100	275	100

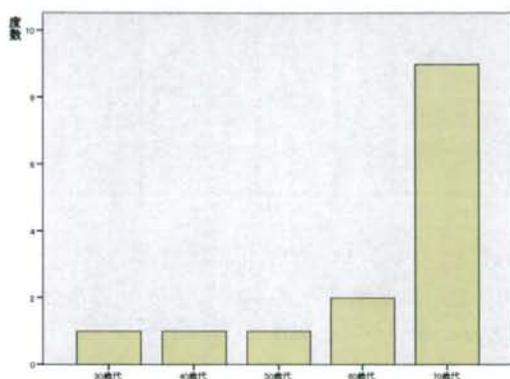
・以下の#のついた質問は、老人保健施設で施設長以外の勤務医師への質問である。

#あなたの年齢をお答えください。

(1 20歳代 2 30歳代 3 40歳代 4 50歳代 5 60歳代 6 70歳以上)

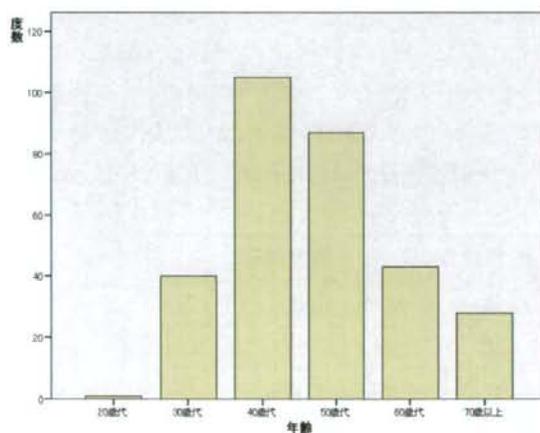
医師の年齢は、「70歳以上」64.3%が最も多く、以下「60歳代」14.3%であった。「20歳代」は0%であった。

一方、療養病床調査の結果では、医師の年齢は、「40歳代」33.5%が最も多く、以下「50歳代」27.8%、「60歳代」13.7%であった。「20歳代」は3%であった。



	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
20歳代	0	.0	0	0
30歳代	1	4.2	7.1	7.1
40歳代	1	4.2	7.1	14.3
50歳代	1	4.2	7.1	21.4
60歳代	2	8.3	14.3	35.7
70歳以上	9	37.5	64.3	100.0
合計	14	58.3	100.0	
欠損値	10	41.7		
合計	24	100.0		

(療養病床調査結果)



	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
20歳代	1	.3	.3	.3
30歳代	40	12.8	13.2	13.5
40歳代	105	33.5	34.5	48.0
50歳代	87	27.8	28.6	76.6
60歳代	43	13.7	14.1	90.8
70歳以上	28	8.9	9.2	100.0
合計	304	97.1	100.0	
欠損値	9	2.9		
合計	313	100.0		

#あなたの性別をお答えください。

(1 男性 2 女性)

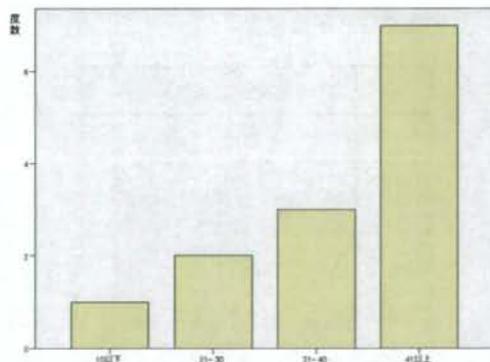
医師の性別は、「男性」が 85.7%、「女性」が 14.3%であった。

一方、療養病床調査の結果では、医師の性別は、「男性」が83.4%、「女性」が13.7%であった。

	老健施設				療養病床			
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
男性	12	50.0	85.7	85.7	261	83.4	85.9	85.9
女性	2	8.3	14.3	100.0	43	13.7	14.1	100.0
合計	14	58.3	100.0		304	97.1	100.0	
欠損値	10	41.7			9	2.9		
合計	24	100.0			313	100.0		

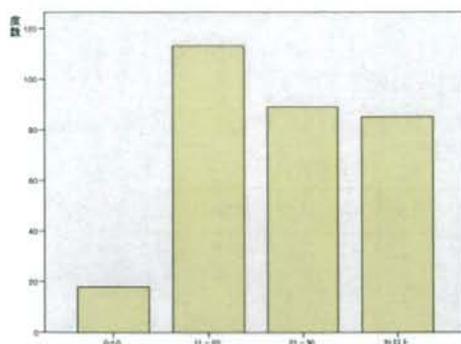
#医師になって何年ですか。

医師の医師経験年数は、平均が 40.2 年(最小値 10 年、最大値 63 年)で、「41 年以上」53.8%が最も多かった。一方、療養病床調査の結果では、医師の医師経験年数は、平均が 25.4 年(最小値 4 年、最大値 65 年)で、「11-20 年」36.1%が最も多く、次に「21-30 年」28.4%であった。



	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
0-10	0	0	0	0
11-20	1	4.2	7.7	7.7
21-30	2	8.3	15.4	23.1
31-40	3	12.5	23.1	46.2
41以上	7	29.2	53.8	100.0
合計	13	54.2	100.0	
欠損値	11	45.8		
合計	24	100.0		

(療養病床調査結果)



	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
0-10	18	5.8	5.9	5.9
11-20	113	36.1	37.0	43.0
21-30	89	28.4	29.2	72.1
31以上	85	27.2	27.9	100.0
合計	305	97.4	100.0	
欠損値	8	2.6		
合計	313	100.0		

*この施設(医療機関)での勤務年数をお答えください。

現施設での勤務年数は、平均は9.1年(最小値1年、最大値58年)で、「0-5年」57.1%が最も多く、半数以上を占めた。

一方、療養病床調査の結果では、現施設での勤務年数は、平均は7.0年(最小値1年、最大値30年)で、「0-5年」55.0%が最も多く、半数以上を占めた。「11年以上」は17.3%であった。

(療養病床調査結果)

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
0-5	8	33.3	57.1	57.1
6-10	3	12.5	21.4	78.6
11以上	3	12.5	21.4	100.0
合計	14	58.3	100.0	
欠損値	10	41.7		
合計	24	100.0		

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
0-5	172	55.0	56.4	56.4
6-10	79	25.2	25.9	82.3
11以上	54	17.3	17.7	100.0
合計	305	97.4	100.0	
欠損値	8	2.6		
合計	313	100.0		

#ご専門の診療科をお答えください。(内科あるいは消化器科など書き方は自由です)

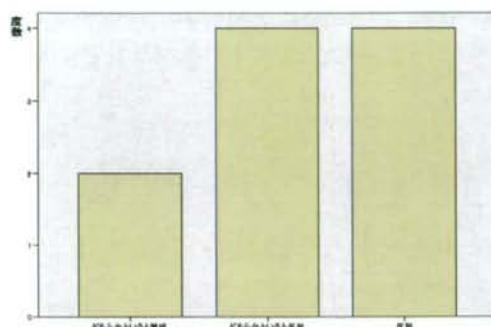
専門診療科の自由記載では、「内科」7人が最も多かった。施設長と同様に、内科の専門領域である「循環器科」「感染症科」などの回答もあった。「老年科」「老年病科」など高齢者ケアを直接表現する専門を挙げたものはいなかった。一方、療養病床調査の結果では、専門診療科の自由記載では、「内科」160人(54.4%)が最も多く、施設長と同様に、内科の専門領域である「循環器科」などの回答が多く、34人(11.6%)みられた。「救急」「ホスピス科」という回答もあった。「老年科」「老年病科」など高齢者医療を直接表現する専門を挙げたものは7人(2.4%)にとどまった。

	老健施設	療養病床
	度数(人)	度数(人)
内科	7	160
外科	1	23
感染症科	1	—
消化器科	1	13
消化器外科	1	1
整形外科	1	9
循環器外科	1	—
病理科	1	—
泌尿器科	1	2
リハビリテーション科	—	13
循環器科	—	10
老年科・老年病科	—	7
脳神経外科	—	6
産婦人科	—	4
心臓血管外科	—	4
放射線科	—	3
耳鼻咽喉科	—	2
総合診療科	—	2
麻酔科	—	2
ホスピス科	—	1
リウマチ科	—	1
救急	—	1
心療内科	—	1
東洋医学科	—	1
透析科	—	1
合計	15	294

今回の療養病床再編についての考えは次のどれに近いですか。

(1 賛成 2 どちらかという賛成 3 どちらかという反対 4 反対)

療養病床再編についての考えは、「反対」、「どちらかという反対」40%が最も多く、合わせると80%であった。

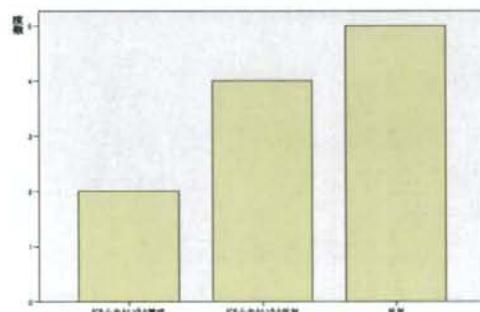


	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
賛成	0	0	0	0
どちらかという賛成	2	8.3	20.0	8.3
どちらかという反対	4	16.7	40.0	60.0
反対	4	16.7	40.0	100.0
合計	10	41.7	100.0	
欠損値	14	58.3		
合計	24	100.0		

後期高齢者ケア制度改革についての考えは次のどれに近いですか。

(1 賛成 2 どちらかという賛成 3 どちらかという反対 4 反対)

後期高齢者ケア改革についての考えは、「反対」45.5%が最も多く、「どちらかという反対」36.4%を合わせると81.9%であった。

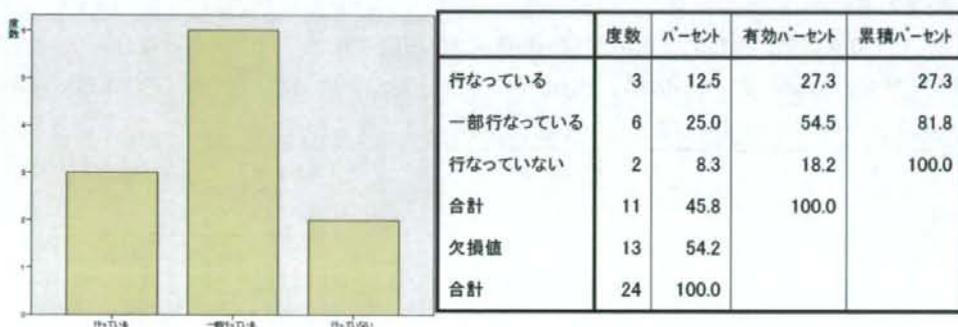


	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
賛成	0	0	0	0
どちらかという賛成	2	8.3	18.2	18.2
どちらかという反対	4	16.7	36.4	54.5
反対	5	20.8	45.5	100.0
合計	11	45.8	100.0	
欠損値	13	54.2		
合計	24	100.0		

#あなたは総合的評価法を行なっていますか。(総合的評価法とはさまざまな機能評価を組み合わせて医療ケアを決定していく手法のことです)

(1 行なっている 2 一部行なっている 3 行なっていない)

総合的評価法は、「行なっている」27.3%で、「一部行なっている」を合わせると約80%であった。



21. 次のうち所属している学会すべてに○をつけてください。

所属学会は、「日本内科学会」125人(35.8%)が最も多く、以下、「日本外科学会」76人(21.8%)、「日本消化器学会」40人(11.5%)であった。「日本老年医学会」は37人(10.6%)であった。なお、これら23学会は、日本医学会加盟及びそれに準ずる学会である。(3.の回答から総医師数を349人として計算)

一方、療養病床調査における常勤医師の回答での所属学会は、「日本内科学会」143人(45.5%)、「日本外科学会」47人(15.0%)、「日本リハビリテーション学会」36人(11.5%)、「日本老年医学会」35人(11.1%)の順であった。(回答した総医師数314人から計算)

	老健施設		療養病床	
	度数(人)	%	度数(人)	%
日本内科学会	125	35.8	143	45.7
日本外科学会	76	21.8	47	15.0
日本消化器病学会	40	11.5	33	10.5
日本老年医学会	37	10.6	35	11.2
日本感染症学会	23	6.6	9	2.9
日本リハビリテーション医学会	23	6.6	36	11.5
日本循環器学会	21	6.0	28	8.9
日本精神神経学会	18	5.2	9	2.9
日本整形外科学会	18	5.2	11	3.5
日本糖尿病学会	17	4.9	17	5.4
日本認知症学会	16	4.6	4	1.3
日本神経学会	15	4.3	14	4.5
日本脳卒中学会	11	3.2	9	2.9
日本癌学会	10	2.9	4	1.3
日本老年精神医学会	10	2.9	9	2.9
日本内分泌学会	8	2.3	8	2.6
日本呼吸器学会	8	2.3	15	4.8
日本腎臓学会	7	2.0	6	1.9
日本脈管学会	7	2.0	2	0.6
日本成人病(生活習慣病)学会	7	2.0	—	—
日本高血圧学会	6	1.7	4	1.3
日本血液学会	5	1.4	5	1.6
日本動脈硬化学会	3	0.9	1	0.3
合計	511		449	

22.次のうち専門医、または認定医資格を持っている学会すべてに○をつけてください。

(選択肢:21と同じ)

専門医、認定医を持っている学会は、「日本内科学会」73人(20.9%)が最も多く、以下「日本外科学会」59人(16.9%)「日本消化器学会」21人(6.0%)であった。「日本老年医学会」は11人(3.2%)、「日本老年精神医学会」は1人であった。(3.の回答から総医師数を349人として計算)

一方、療養病床調査における常勤医師の回答では、「日本内科学会」94人(29.9%)が最も多く、以下「日本外科学会」38人(12.1%)「日本消化器学会」20人(6.4%)であった。「日本老年医学会」は13人(4.1%)であった。(回答した総医師数314人から計算)

	老健施設		療養病床	
	度数(人)	%	度数(人)	%
日本内科学会	73	20.9	94	30.0
日本外科学会	59	16.9	38	12.1
日本消化器病学会	21	6.0	20	6.4
日本リハビリテーション医学会	13	3.7	12	3.8
日本老年医学会	11	3.2	13	4.2
日本循環器学会	11	3.2	13	4.2
日本整形外科学会	11	3.2	8	2.6
日本精神神経学会	10	2.9	3	1.0
日本神経学会	8	2.3	13	4.2
日本感染症学会	6	1.7	—	—
日本呼吸器学会	6	1.7	6	1.9
日本血液学会	5	1.4	4	1.3
日本認知症学会	4	1.1	—	—
日本脳卒中学会	4	1.1	4	1.3
日本糖尿病学会	3	0.9	5	1.6
日本腎臓学会	3	0.9	2	0.6
日本内分泌学会	2	0.6	4	1.3
日本高血圧学会	2	0.6	—	—
日本成人病(生活習慣病)学会	2	0.6	—	—
日本癌学会	1	0.3	—	—
日本脈管学会	1	0.3	—	—
日本動脈硬化化学会	1	0.3	—	—
日本老年精神医学会	1	0.3	2	0.6
合計	258		246	

23. 次の老年学関係の学会のうち所属しているものすべてに○をつけてください。

老年学関係の学会のうち所属学会は、「日本老年医学会」42人と日本老年精神医学会11人、合わせて九割以上を占めた。日本老年歯科医学会に所属しているものはいなかった。

一方、療養病床調査の結果では、老年学関係の学会のうち所属学会は、「日本老年医学会」38人(74.5%)と日本老年精神医学会とで48人、94%を占めた。日本老年歯科医学会、日本老年社会科学会、日本基礎老科学会の3学会に所属しているものはいなかった。

	老健施設	療養病床
	合計	合計
日本老年医学会	42	38
日本老年精神医学会	11	10
日本ケアマネジメント学会	3	3
日本老年社会科学会	1	——
日本基礎老科学会	1	——
合計	58	51

2-2. 医師への調査結果(分散分析、およびクロス集計)

施設長の分析と同様に、一元配置分散分析、およびクロス集計(χ^2 乗検定)を用いて更なる検討をするために次のような手続きを行った。医師になってからの年数については、その分布から19年以下、20-29年、30年以上の3群に区分した変数「医歴3R」を計算した。施設に勤務してからの年数については、その分布から4年以下、5-9年、10年以上の3群に区分した変数「職歴3R」を計算した。現在の施設に勤務した理由については、「高齢者ケアを実践したい」とそれ以外(「勤務条件(当直や勤務時間)が合ったから」、「勤務条件(収入)が合ったから」、「通勤に便利だったから」)に区分した「勤務理由2R」を計算した。現在の職場への満足については、「はい」とそれ以外に区分した変数「職場満足2R」を計算した。今後の勤務については、「可能な限り勤務を続けたい」とそれ以外に区分した変数「勤務継続2R」を計算した。

高齢者ケアで重要と思う点については、頻度の高かった「認知症の知識とケア」「総合評価の下のチーム医療」「在宅医療との連携」「ケアの継続性と一貫性」「ターミナルケアの考え方と実践」の5項目について、所属学会と専門医資格については、日本内科学会と日本老年医学会の2学会についてのみ分析を行った。他に、「高齢者ケアの現状について」「療養病床再編について」「後期高齢者ケア制度について」「学習時間の確保」「機能評価の実施」「チーム会議の実施状況」「チーム医療実践」「歯科診察依頼の困難」「整形外科診察依頼の困難」「皮膚科診察依頼の困難」「精神科診察依頼の困難」「看護師との関係」「他職種との関係」「悩みの有無」についての回答を分析した。また、「年間の学会参加回数」「年間の院内研修参加回数」「一週間の仕事時間」「勤務時間外の電話対応数」「勤務時間外の呼出回数」「夜勤回数」については実際の数の記入データを分析した。

先に求めた「医歴3R」、「職歴3R」、「勤務理由2R」、「職場満足2R」、「勤務継続2R」の5変数と、上記のさまざまな変数との一元配置分散分析、およびクロス集計(χ^2 乗検定)を行った。以下では、それらの結果の中から、主なものについて示す。

1. 医師歴との関連について

医師歴30年以上の医師は、整形外科、皮膚科診察依頼に困らなく、今後の勤務は困難と考え、困っていることがないと答えたものが多く、日本内科学会の会員が多かった。

一方、療養病床調査の結果では、医師歴はほとんどの変数と有意な関連を認めなかった。医師歴30年以上の医師は、夜勤回数が少なく、医師歴19年以下の療養病床勤務医師は女性が多かった。

		整形外科への診察依頼				合計	
		困らない	あまり困らない	時々困る	いつも困る	1.00	
医師歴	19以下	度数	11	5	13	2	31
		%	35.5%	16.1%	41.9%	6.5%	100.0%
	20- 29	度数	17	22	17	2	58
		%	29.3%	37.9%	29.3%	3.4%	100.0%
	30以上	度数	120	98	56	5	279
		%	43.0%	35.1%	20.1%	1.8%	100.0%
合計	度数	148	125	86	9	368	
	%	40.2%	34.0%	23.4%	2.4%	100.0%	

P<0.05

		皮膚科への診察依頼				合計	
		困らない	あまり困らない	時々困る	いつも困る	1.00	
医師歴	19以下	度数	7	6	15	3	31
		%	22.6%	19.4%	48.4%	9.7%	100.0%
	20- 29	度数	13	20	23	2	58
		%	22.4%	34.5%	39.7%	3.4%	100.0%
	30以上	度数	109	90	73	8	280
		%	38.9%	32.1%	26.1%	2.9%	100.0%
合計	度数	129	116	111	13	369	
	%	35.0%	31.4%	30.1%	3.5%	100.0%	

P<0.01

		今後の勤務についての考え方				合計
		可能な限り続ける	早めに他施設に移りたい	しばらくはこのまま	長く続けられない	
医師歴	19以下	度数 17	0	12	2	31
		% 54.8%	.0%	38.7%	6.5%	100.0%
	20-29	度数 35	0	19	3	57
	% 61.4%	.0%	33.3%	5.3%	100.0%	
	30以上	度数 120	2	102	55	279
	% 43.0%	.7%	36.6%	19.7%	100.0%	
合計		度数 172	2	133	60	367
		% 46.9%	.5%	36.2%	16.3%	100.0%

P<0.05

		困っている事		合計
		ある	ない	
医師歴	19以下	度数 24	7	31
		% 77.4%	22.6%	100.0%
	20-29	度数 45	13	58
	% 77.6%	22.4%	100.0%	
	30以上	度数 171	106	277
	% 61.7%	38.3%	100.0%	
合計		度数 240	126	366
		% 65.6%	34.4%	100.0%

P<0.05

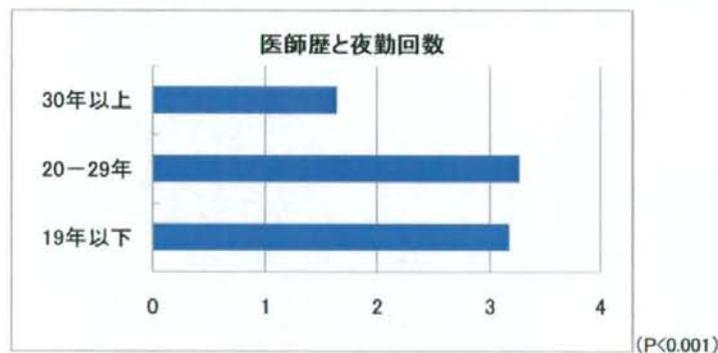
		日本内科学会		合計
		会員でない	会員	
医師歴	19以下	度数 6	17	23
		% 26.1%	73.9%	100.0%
	20-29	度数 24	22	46
	% 52.2%	47.8%	100.0%	
	30以上	度数 101	85	186
	% 54.3%	45.7%	100.0%	
合計		度数 131	124	255
		% 51.4%	48.6%	100.0%

P<0.05

		日本老年医学会		合計	
		会員でない	会員		
医師歴	19以下	度数	22	1	23
		%	95.7%	4.3%	100.0%
	20-29	度数	40	6	46
		%	87.0%	13.0%	100.0%
	30以上	度数	156	30	186
		%	83.9%	16.1%	100.0%
合計		度数	218	37	255
		%	85.5%	14.5%	100.0%

n.s

(療養病床調査結果)



医師歴と性別

		性別			
		男性	女性	合計	
医師歴	19年以下	度数	80	24	104
		%	76.9%	23.1%	100.0%
	20-29年	度数	90	9	99
		%	90.9%	9.1%	100.0%
	30年以上	度数	91	10	101
		%	90.1%	9.9%	100.0%
合計		度数	261	43	304
		%	85.9%	14.1%	100.0%

(P<0.005)

2. 勤務歴との関連について

現在の施設(病院)に勤務してからの年数が多い医師は、現施設への勤務理由に高齢者ケアの実践をあげるものが多く、高齢者ケアでの重要点について、在宅ケアとの連携、ケアの継続性と一貫性をあげるものが多かった。また、他の変数との関連はまったくみられなかった。

一方、療養病床調査の結果では、現在の施設(病院)に勤務してからの年数についても、他の変数との関連はまったくみられなかった。

		勤務理由					合計
		高齢者ケア の実践	勤務条件 (時間)	勤務条件 (収入)	通勤に便 利	その他	
施設勤務歴	5未満	度数 52	52	8	10	58	180
		% 28.9%	28.9%	4.4%	5.6%	32.2%	100.0%
	5-9	度数 38	12	2	6	34	92
	% 41.3%	13.0%	2.2%	6.5%	37.0%	100.0%	
	10以上	度数 38	13	2	1	32	86
	% 44.2%	15.1%	2.3%	1.2%	37.2%	100.0%	
合計		度数 128	77	12	17	124	358
		% 35.8%	21.5%	3.4%	4.7%	34.6%	100.0%

P< 0.005

		在宅ケアとの連携		合計
		重要でない	重要	
施設勤務歴	5未満	度数 98	88	186
		% 52.7%	47.3%	100.0%
	5-9	度数 34	59	93
	% 36.6%	63.4%	100.0%	
	10以上	度数 39	52	91
	% 42.9%	57.1%	100.0%	
合計		度数 171	199	370
		% 46.2%	53.8%	100.0%

P<0.05

			ケアの継続性と一貫性		合計
			重要でない	重要	
施設勤務歴	5未満	度数	95	91	186
		%	51.1%	48.9%	100.0%
	5-9	度数	49	44	93
		%	52.7%	47.3%	100.0%
	10以上	度数	29	62	91
		%	31.9%	68.1%	100.0%
合計		度数	173	197	370
		%	46.8%	53.2%	100.0%

P<0.01

3. 勤務理由との関連について

現在の施設に勤務した理由に「高齢者ケアの実践」をあげたものは、職場の満足度が高く、高齢者ケアをもっと充実させるべきと答えたものが多く、高齢者ケアでは「在宅医療との連携」、「ケアの継続性と一貫性」を重視している割合が高かった。また、「整形外科診察依頼」に困ることは少なく、今後の勤務についての考え方は、「可能な限り続ける」と答えたものが多かった。しかしながら、勤務で困っていることについては「多忙さ」をあげる者が多い傾向にあった。

その他、「療養病床再編について」「後期高齢者医療制度について」「機能評価の実施状況」などについては、関連を認めなかった。

一方、療養病床調査の結果では、現在の施設(病院)に勤務した理由に「高齢者医療の実践」をあげたものは、「後期高齢者医療制度改革への考え方について」賛成と反対の両極に二分され、「学習時間の確保」はされており、「精神科診察依頼」に困ることは少なく、日本老年医学会への所属、専門医資格保有が多かった。

			職場満足度			合計
			満足している	どちらともいえない	満足していない	
現在の施設に勤務した理由	高齢者ケアの実践	度数	83	34	10	127
		%	65.4%	26.8%	7.9%	100.0%
	それ以外	度数	114	86	26	226
		%	50.4%	38.1%	11.5%	100.0%
合計		度数	197	120	36	353
		%	55.8%	34.0%	10.2%	100.0%

P<0.05

		高齢者ケアの現状についての考え方			合計
		現状でよい	もっと充実すべき	その他	
現在の施設 に勤務 した理由	高齢者ケア の実践	度数 16 %	101 83.5%	4 3.3%	121 100.0%
	それ以外	度数 53 %	136 60.7%	35 15.6%	224 100.0%
合計		度数 69 %	237 68.7%	39 11.3%	345 100.0%

P<0.001

		在宅医療との連携		合計
		重要でない	重要	
現在の施設 に勤務 した理由	高齢者ケア の実践	度数 50 %	79 61.2%	129 100.0%
	それ以外	度数 117 %	116 49.8%	233 100.0%
合計		度数 167 %	195 53.9%	362 100.0%

P<0.05

		ケアの継続性と一貫性		合計
		重要でない	重要	
現在の施設 に勤務した理由	高齢者ケア の実践	度数 50 %	79 61.2%	129 100.0%
	それ以外	度数 121 %	112 48.1%	233 100.0%
合計		度数 171 %	191 52.8%	362 100.0%

P<0.05

		整形外科の診察依頼				合計
		困らない	あまり困らない	時々困る	いつも困る	
現在の施設 に勤務した理由	高齢者ケア の実践	度数 64 49.6%	35 27.1%	28 21.7%	2 1.6%	129 100.0%
	それ以外	度数 80 34.6%	86 37.2%	59 25.5%	6 2.6%	231 100.0%
合計		度数 144 40.0%	121 33.6%	87 24.2%	8 2.2%	360 100.0%

P<0.05

		勤務についての考え方				合計
		可能な限り 続ける	早めに他施設に 移りたい	しばらくはこ のまま	長く続けら れない	
現在の施設 に勤務 した理由	高齢者ケア の実践	度数 81 62.8%	0 0.0%	31 24.0%	17 13.2%	129 100.0%
	それ以外	度数 88 38.1%	2 0.9%	97 42.0%	44 19.0%	231 100.0%
合計		度数 169 46.9%	2 0.6%	128 35.6%	61 16.9%	360 100.0%

P<0.001

		勤務の多忙さ		合計
		困っていない	困っている	
現在の施設 に勤務 した理由	高齢者ケア の実践	度数 45 56.3%	35 43.8%	80 100.0%
	それ以外	度数 107 70.9%	44 29.1%	151 100.0%
合計		度数 152 65.8%	79 34.2%	231 100.0%

P<0.05

(療養病床調査結果)

現在の施設に勤務した理由と後期高齢者医療制度改革への考え方

		後期高齢者医療制度改革への考え方					
		どちらか という					
		賛成	賛成	どちらかという	反対	反対	合計
現在の施設 (病院)に勤務 した理由	それ以外	度数	1	44	101	68	214
		%	0.5%	20.6%	47.2%	31.8%	100.0%
高年齢医療 の実践	高年齢医療	度数	5	15	29	29	78
		%	6.4%	19.2%	37.2%	37.2%	100.0%
合計		度数	6	59	130	97	292
		%	2.1%	20.2%	44.5%	33.2%	100.0%

(P<0.01)

現在の施設に勤務した理由と学習時間の確保

		学習時間の確保					
		確保で きている	どちらかという とできている	どちらかという とできていない	確保できて いない	合計	
現在の施設 (病院)に勤務 した理由	それ 以外	度数	63	82	52	29	226
		%	27.9%	36.3%	23.0%	12.8%	100.0%
高年齢医療 の実践	高年齢医療	度数	30	28	17	2	77
		%	39.0%	36.4%	22.1%	2.6%	100.0%
合計		度数	93	110	69	31	303
		%	30.7%	36.3%	22.8%	10.2%	100.0%

(P<0.05)

現在の施設に勤務した理由と精神科診療依頼

		精神科診療依頼					
		困らない	あまり困らない	時々困る	いつも困る	合計	
現在の施設 (病院)に勤務 した理由	それ以外	度数	56	59	78	34	227
		%	24.7%	26.0%	34.4%	15.0%	100.0%
高年齢医療 の実践	高年齢医療	度数	34	16	19	9	78
		%	43.6%	20.5%	24.4%	11.5%	100.0%
合計		度数	90	75	97	43	305
		%	29.5%	24.6%	31.8%	14.1%	100.0%

(P<0.05)

現在の施設に勤務した理由と日本老年医学会への所属

		日本老年医学会			合計
		所属していない	所属している		
現在の施設 (病院)に勤務 した理由	それ以外	度数	154	20	174
		%	88.5%	11.5%	100.0%
高年齢者医療 の實踐		度数	40	15	55
		%	72.7%	27.3%	100.0%
合計		度数	194	35	229
		%	84.7%	15.3%	100.0%

(P<0.01)

現在の施設に勤務した理由と日本老年医学会の専門医取得

		日本老年医学会専門医			合計
		取得していない	取得している		
現在の施設 (病院)に勤務 した理由	それ以外	度数	116	4	120
		%	96.7%	3.3%	100.0%
高年齢者医療 の實踐		度数	30	9	39
		%	76.9%	23.1%	100.0%
合計		度数	146	13	159
		%	91.8%	8.2%	100.0%

(P<0.001)

4. 職場満足との関連について

現在の職場に満足しているものでは、「学習時間の確保」や「チームケア実践」ができており、「整形外科診察依頼の困難」や「精神科診察依頼の困難」が少なく、「看護師との関係」「他職種との関係」が良好で、今後の勤務についての考え方は、「可能な限り続ける」と答えたものが多く、「悩み」のあるものが少なかった。

一方、療養病床調査の結果では、現在の職場に満足しているものでは、「学習時間の確保」や「チーム医療実践」ができており、「整形外科診察依頼の困難」や「精神科診察依頼の困難」が少なく、「他の医師との関係」「看護師との関係」「他職種との関係」が良好で、「悩み」のあるものが少なかった。一方、高齢者医療で重要と思う点の中で、「在宅医療との連携」をあげたものが有意に少なかった。